

谷川連峰 谷川岳 山行報告書

【山城・山】 谷川岳 西黒尾根～オキノ耳(1,977m)～トマノ耳(1,963m)～天神尾根

【形式】 ハイキング

【日程・天気】 2017年6月24日(土) 晴れ

【参加者】 CL田中・澤田(路)・吉瀬

【行程】 水上道の駅→天神平ロープウェイ駐車場→

西黒尾根登山口 5:50－巖剛新道分岐 8:15－ザンゲ岩－肩ノ小屋－オキノ耳 10:10－トマノ耳 11:09－肩ノ小屋 11:30－天神尾根－14:06 天神平駅＝ロープウェイ＝駐車場

梅雨の晴れ間に初めて谷川岳に行ってきました。地形図で西黒尾根は最初と、巖剛新道からの登りがきびしく巖剛新道合流点(ラクダのコル)まではコースタイム2時間40分。今日はストックを使いました。樹林帯をゆっくり登り始めると蝉の鳴き声が出てきました。大きなザックに鍋を付けた若者パーティに道を譲りながら3本の小休憩。つかれても花々が励ましてくれました。西黒尾根では若者パーティとソロのおじさま数人にしか会いませんでした。途中で足をつっているおじさまにSさんがサッと特効薬の芍薬甘草湯をさしあげました。いくつかのクサリ場では私はクサリのお世話になり、巖剛新道(ラクダのコル)から先で、久しぶりに太陽にあたったためか、ばて手気味でなんとかザンゲ岩に到着。Sさんからサクランボウをいただき元気がもりもり。肩ノ小屋の手前には雪が残っていたので気を付けて通過。小屋までくると、天神平からの登山者がちらほらいました。オキノ耳に着くと、ソロの方からTさんが写真を頼まれ、ポチ。なんだか楽しそうなポーズ。私たちが撮っていただきました。



【ラクダの背にて】



【ウラジロヨウラクと山頂】



【ラクダのコブにて】



【オキノ耳にて】



【トマの耳にて】



【オキノ耳と雪渓】

朝の若者パーティにも会い、Tさんが写真を頼まれポチ・ポチ。まぶしい笑顔の探検部の彼らは蓬峠を抜けて清水峠に向かうそうです。「がんばれよ!」「気を付けてね。」と声をかけて別れました。TさんとSさんが感心しておられましたが私は清水峠の場所が分からず、あとから地図で確認し、改めて感心した次第です。『清水峠からどこに向かったのかな?もしかして、むこうに見えた朝日岳・白毛門を周回しているのかな?』。トマノ耳にチョコット立ち寄ると、登山者が増えていました。肩ノ小屋でトイレタイム。

肩ノ小屋から天神尾根に向かうと80mほどの雪の斜面。軽アイゼンを付けるかどうか。念のためTとKはロープを付けて、靴のエッジを効かせて降りることにしました。残り20m急斜面になるところで、ロープウェイできた登山者の長い列の先頭にあい、私たちの前に行く男子も立ち止まり、ロープから離れた斜面にエッジを効かせて降りはじめました。リーダーがもしものため、私にロープビレーをして下さりエッジを効かせ降りましたが、最後で少し滑ってしまいました。天神平からのたくさんの登山者は途切れることなく、降りる人々が立ち往生。見かねたTリーダーがアイスアックスを使って新ルートを開拓しました。



沢山の花々に迎えられました。



天神平の下り、熊穴沢避難小屋までは岩が多く、その後は樹林帯でした。

当初、肩ノ小屋泊予定の山行はリーダーが梅雨前線の動きを見て前夜発日帰り山行に変更になりました。朝方、谷川岳山頂にはうっすら雲がかかっていましたけれど、私たちが付くころには雲がなくなり、周りの山々が良く見え、3人で素敵な山行ができました。どうもありがとうございました。(記録)吉瀬



山旅のおわりです。

(追記/写真追加: 田中)